学校番号	T3010

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学演習Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業はプリントを中心に進めます。
・プリントには答だけでなく、途中式や考え方を必ず書きましょう。普段の授業ではメモを積極的にとっていっていただけたらと思います。
・分からない内容があれば、可能な限り早めに対応するよう心がけましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
基本的な一般教養としての数学に関する知識や技能の習得および定着を目指す。

【思考力、判断力、表現力等】
数学を活用して事象を論理的に考察・表現する力を育成することを目指す。

【学びに向かう力、人間性等】
数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	一般教養としての数学に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識として身につけることができる。 また、数式処理や図形に対して適した考察をし、問題解決につなげることができる。	一般教養としての数学におけるいろいろな事象について、数学的にとらえて論理的に考察および表現ができる。	一般教養としての数学に関する数理的な諸概念に興味・関心をもつ。また、その良さ認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	二次関数・確率	○1次関数 ○2次関数 ○2次方程式 ○2次不等式 ○いろいろな事象の確率 ○独立な試行･反復試行とその確率	a:関数の値の基本的な計算方法を理解し、正確に計算することができる。 確率についての基本的な概念、法則・定理、用語・記号などを理解し、様々な確率を求めることができる。 b:関数における式を視覚的に捉えグラフで表現することができる。 様々な事象に対し、順列および組合せの考え方を応用して考察ができる。 c:関数について関心を持ち、進んで学ぼうとする。また、関数の考え方が使われる場面を見出し、意欲的に活用しようとする。 c:確率の考え方を様々な事象の考察に活用しようとする。また、日常に登場する様々な事象における確率に関心をもつ。	定期考査	定期考査 演習の発表 課題 プリント	演習の発表 毎時間の振り返り

二学期	三角比・確率	○三角比 ○正弦定理･余弦定理 ○三角形の面積 ○条件付き確率 ○期待値 ○三角形の性質 ○円の性質	a:三角比の基本的な求め方およびそれに関する計算方法を理解し、正確に求めることができる。 確率についての基本的な概念、法則・定理、用語・記号などを理解し、条件つき確率および様々な期待値を求められる。 三角形および円の基本的な性質および定理を理解している。 b:三角形およびその外接円の位置関係等を視覚的に捉え、基本事項を応用して正確に求めることができる。 様々な事象に対し、順列および組合せの考え方を応用して考察ができる。 三角形および円の性質を体系的に捉え、作図等を通して適切に表現できる。 c: 三角比を日常に登場するものに用いて、距離などを求めようとする。 日常に現れる様々な確率、期待値を考察し、求めようとする。 三角形および円の性質を日常で登場するものに応用し、考察しようとする。	定期考査	定期考査 演習の発表 課題 プリント	演習の発表 毎時間の振り返り

三学期	データの分析・数学と人間の活動	○データの分析 ○整数の性質と ユークリッドの互除法	a：データにまつまる様々な言葉の意味を理解し、計算等で求めることができる。かつ、それらを適切に活用できる。 倍数の判定法の仕組みを莉枚している。また、以前に修得した倍数・約数および最小公倍数・最大公約数にまつわる知識を拡張し、それぞれを求めることができる。 b：標準偏差を用いることで、データの散らばり具合を考えることができる。また、相関関係を調べることで多数のデータから強い関係をもつものを判断することができる。 ユークリッドの互除法の原理を理解し、適切に活用・考察ができる。 c:統計がどのように身近な日常で役立っているかに興味を持ち、自発的に考察しようとする。 暗号技術に素因数分解が活用されていることをはじめとした、日常との関係性に興味をもち、考察・探究しようとする。	定期考査	定期考査 演習の発表 課題 プリント	演習の発表 毎時間の振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度